

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	伊勢崎市協働まちづくり事業審査委員会
開 催 日 時	令和7年4月20日(日) 午後2時00分～午後4時30分
開 催 場 所	緋の郷円形交流館多目的ホール
出 席 者 氏 名	(委員) 大前委員長、藤井副委員長、田部井委員、真下委員、細井委員 (事務局) 市民活動課長、市民活動支援係長2名、市民活動支援係主査1名、市民活動支援係主任1名
傍 聴 人 数	0名
会 議 の 議 題	市民提案型協働まちづくり事業審査
会 議 資 料 の 内 容	協働まちづくり事業補助金企画提案書
会 議 に お け る 議 事 の 経 過 及 び 発 言 の 要 旨	1. あいさつ【大前委員長】 2. 審査委員の紹介 3. 事業概要の説明【市民活動支援係主査】 (1) 制度の概要について (2) プレゼンテーションの進め方について 4. 公開審査 (1) くじ引き プレゼンテーションを行う順番を決めました。 (2) 審査会 協働まちづくり事業補助金企画提案書の提出のあった3事業の公開プレゼンテーションを行いました。 以下質疑応答の内容です。

〈ＡＯフェスティバル実行委員会〉

Ｑ１

事業費に対して補助金額が少ないが、採択されなかった場合にはどのように工面するのか。

また、今回は第１回目の開催であるが、ＡＯフェスティバルの今後の展望はあるか。

Ａ１

採択されなかった場合はＡＯフェスティバル実行委員会のメンバー内で集金し、実施する。

今後もＡＯフェスティバルを開催していきたい。また、本事業について、伊勢崎の外に出て実施するのか、外の地域から伊勢崎に集客するのか、より伊勢崎のＰＲになる運営方法についても考えていきたい。

Ｑ２

出演者を見ると若者向けに感じるが、ＡＯフェスティバルの本質である「祭りの機能」となると、老若男女楽しむことができる必要がある。唱歌や演歌、のど自慢大会等を入れると市民参加型の「祭り」に近づくのではないか。次回からは、「音楽」と「伊勢崎」にこだわって開催をしてほしい。

Ａ２

次回以降参考にする。

Ｑ３

本事業の出店内容は多世代が楽しめる内容になっていると言っていたが、若者向けのものが多く感じる。老若男女の人が楽しむための内容として考えはあるか。

Ａ３

今は具体的なアイデアはないが、作りこみすぎないことを意識している。これから検討する。

Ｑ４

賑わいの創出について、若者の伊勢崎離れを止めるためのイメージを持っているのか。

Ａ４

全てをとどめることはできないと思う。また、一度東京や世界に羽ばたいてからから伊勢崎に戻ってくるのもいいと思う。伊勢崎にとどまるというよりも、伊勢崎を思いながら活躍の場を広げ、結果的に伊勢崎に戻ってきてもらえたら嬉しい。

Ｑ５

本事業はどのように周知していくのか。

Ａ５

ＡＯフェスティバル実行委員会の代表者が広告の仕事をしているので、人脈を使いながら周知をしていく。

〈NPO法人 伊勢崎西部スポーツクラブ〉

Q 1

部活動に励んでいる子どもが土日を利用して市民主導型の地域スポーツに参加する場合、土日の練習もあるため時間的余裕がないのではないかと。

A 1

部活動のガイドライン上では、土日の一方は休日でなければならないため、本事業に参加する時間的余裕は確保できると思う。

Q 2

中学、高校の部活動は、地域で行っている生涯スポーツのようなものと比較するとアスリートを目指す側面があると思うが、それらは融合していけるのか。

また、本事業は若年層のうちに1つのスポーツに限らずに複数のスポーツを行うことができ、子どもが様々なスポーツに触れるきっかけには良いと思う。このことに関して、将来的にどのように企画していくか。

A 2

全国的なアンケートから、部活動をアスリートになるための練習と捉えている子どもは約3割なので部活動と地域スポーツを融合することに関しては問題はないと思う。

また、複数のスポーツを行うことは怪我をしない体作りにつながる。

Q 3

若年層だけでなくそれ以降も続けられるような事業にしてほしい。

A 3

学校から地域に移行することと地域が子どもを受け入れることが定着すれば生涯にわたるスポーツが定着すると思う。

Q 4

国スポ・全スポぐんまについて言及していたが、当クラブではどのような関りができるのか。

A 4

当クラブのメンバーに各競技の理事や関係者がいるため、指導できると思う。

また事業終了後も継続して行うので、サポートが可能であると思う。

〈NPO法人 成年後見センター群馬〉

Q 1

市民後見の啓蒙・普及を目指しているNPO団体であると思うが、なぜ消費者教育に焦点を当てているのか。

A 1

後見制度が高齢者のイメージが強い中、身近にいる障害者の中に支出と収入のバランスが分からない方がいるため、お金と契約の題材を扱うことを決めた。

Q 2

事業名称より「親あるうちに学ぶ」というのは、子どもがお金で困らないように学ぶというような印象を受ける。障がい者にも親がいない人もいますので若者向けと誤解されるのではないかと。事業名称を変更すべき。

A 2

始めは若者向けであったので、名称を検討する。

Q 3

講師謝礼が補助金の大部分を占めるが、内訳はどうなっているか。

A 3

4人の講師に1回7,000円で事業を2回行ってもらう予定である。

Q 4

市民後見の重要性が伝わっていない中で、消費者教育に焦点を当てていくのは良くない。知的障がい者への後見制度について近年批判も多い。批判を受け止めながら活動するのならよいが、後見人を選任したがゆえのトラブルもある。そこに焦点を当てるのはどうか。

A 4

お金と契約の事について知ってもらいたい。具体的な内容では、市民後見につなげていく。

Q 5

本事業の内容は必要なことであると思うが、知的障がい者の方への具体的な働きかけは何かあるか。

A 5

代表者が相談支援専門員の仕事をしているため、お金についてのトラブルがあることを知っている。本事業では、仕事上知っている情報を障がい者や身近に障がい者がいる方に知ってほしい。

	5. 閉会 (1) 講評【大前委員長】 (2) 連絡事項 事務連絡を行いました。 ◆ 審査結果 (団体名) AOフェスティバル実行委員会 (事業名) AOフェスティバル (団体名) NPO法人 伊勢崎西部スポーツクラブ (事業名) 地域スポーツクラブ、地域スポーツ団体による『中学運動部活動地域展開促進事業』 (団体名) NPO法人 成年後見センター群馬 (事業名) 「成年後見制度を安心して利用できる体制づくり」 ～知的障がい者と親を支える成年後見制度とは?!～ 上記のとおり、3事業が補助対象事業として選定されました。 以上 追記 AOフェスティバル実行委員会については、選定後に申請辞退となりました。
--	--